

令和6年10月18日到着分 新着本(一般書)

貸出中の資料は予約を受付けております。
カウンターの係員にお申し出下さい。

	書名	著者名	出版社	分類	備考
1	彼は早稲田で死んだ	樋田 毅	文藝春秋	社会	
	1972年、早稲田大学構内で1人の学生が虐殺された。その事件をきっかけに蜂起した一般学生の「自由」獲得への闘い。その時、キャンパスでは何が起きていたのか。渦中で理不尽な暴力と対峙し続けた著者による渾身のルポ。				
2	南町奉行と酒呑童子	風野 真知雄	文藝春秋	文学	
	追に落ちていたモむくじやらの腕は、番屋に預けられた速端、人首首と共に消えた。一方、柳橋近くで隠居がめつた切りにされ殺された。隠居の残した「酒呑童子に殺される」の意味とは。南町奉行・根岸肥前守と仲間達が謎に迫る				
3	閉じた海	松本 清張	中央公論新社	文学	
	ジャンルの始祖・松本清張にとって、「社会派推理」とは何だったのか。作家が直面した小説の可能性と限界とは。初書籍化となる表題作ほか、単著・全集未収録の小説・トーク・エッセイを中心に、その軌跡をふりかえる作品集。				
4	一本足のガチョウの秘密	フランク・ゲルバー	論創社	文学	
	ホテルの部屋に踏みこんできた借金取りと賭けをしたジョニーとサムはトラブルに巻き込まれ、サムは拉致されてしまう。孤立無援となったジョニーは難局を切り抜け、サムを助け出すことができるのか？				